

## 令和2年度 第3回せたがや生涯現役ネットワーク世話人会議事要旨

日 時：令和2年8月21日（金） 午後5時～午後7時

出席者：世話人 兜山、鬼塚、片岡、石川、白井、秋山、河上  
市民活動・生涯現役推進課 生方、藤木、木村

### 1 〈議決事項〉

#### (1) 第1号報告 会員入会について

「けやき歩好会」山中氏より団体概要の説明及び入会の意思表示があり、団体の入会が承認された。

#### (2) 令和2年度臨時総会の開催方法について

書面総会でなく、顔をあわせた形で総会を開催したいとの意見があり、対面での臨時総会を開催することとした。交流会は開催しない。

日時 9月28日（月） 5時30分～

会場 ひだまり友遊会館 第1、第2会議室

#### (3) 臨時総会の議案書（案）について

##### 第1号議案 せたがや生涯現役ネットワーク会則の改正について

会計監査の選任方法について記載がなかったため、会則第5条第8項の改正について協議した。

協議の結果、以下を世話人会案とする。

- 8 会計監査は2名とする。世話人が推薦した者を世話人会が承認する。なお、任期は2年間とし、再任は2期までとする。
- 9 会計監査は、会計年度末に監査を行う。

##### 第2号議案 令和3年度補助金の予算要望について

鬼塚氏より、「例年、プロジェクト予算案のみを臨時総会で検討していたが、イベントを加えた全体の補助金予算について検討すべきではないか」との意見がなされたため、イベントについても予算案を作成し、臨時総会で諮ることとした。

シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト、イベントともに、コロナウイルスの影響で活動が遅れているため、令和2年度の予算を基本として令和3年度予算案を作成する。その上でシニアの社会参加のしくみづくりプロジェクトについては、以下の点を修正することとした。

- ・実行委員の人数を実績に合わせる。（10名→15名）
- ・打ち合わせ会議室借用料を実績に合わせる。（500円→2,000円）
- ・まち歩きを5地域に分け、各3日間実施することとなったため、「まち歩き講師謝礼」、「まち歩き補助スタッフ謝礼」、「まち歩き実地調査」について増額する。
- ・パンフレット作成経費についてはイベント予算内に含めることとする。

第2号議案の資料については事務局にて修正を行い、後日世話人が確認することとなった。

**第2号報告** 令和2年度シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト中間報告について  
鬼塚氏より、シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト準備会、実行委員会での検討状況について報告があった。報告の要旨は以下のとおり。

- ・4月からの実施を計画していたが、コロナウイルスの影響で動けなかったため、6月の書面総会の案内に合わせて実行委員を募集した。
- ・実行委員の内訳は生涯現役ネットワーク8人、ボランティア協会推薦3人、社会福祉協議会推薦6名となっている。
- ・計画ではまち歩き講座の定員を50名としていたが、大人数で集まることが困難であるため、定員10名のまち歩き講座を5地域に分散して実施することとした。各地域で3日の講座を予定している。
- ・実行委員は5地域に分かれて企画を実施する。具体的な内容については検討中である。
- ・講座の申込みは市民活動・生涯現役推進課で一括して受け付けを行う。
- ・10月15日号の区報に参加者募集を掲載予定である。
- ・社会福祉協議会、ボランティア協会と連携しながら実施できている。

**第3号報告** 令和2年度イベントについて

イベント実行委員会における検討状況について事務局より報告があった。今年度はイベント内容を変更し、縮小して実施する予定である。主な変更は以下のとおり。

- ・目的 せたがや生涯現役ネットワークに参加していない団体に対し、せたがや生涯現役ネットワークを紹介する。
- ・時間 午後のみ（1時～5時）とする。
- ・場所 成城ホール（フラットで利用し、4階は利用しない）
- ・内容 特別講演会（入場無料）、団体紹介（ポスターセッション、相談コーナーなど）

## 2 〈報告事項〉

### (1) 山根氏の退任について

山根氏の退任について、兜山氏より報告があった。なお、欠員補充は実施しない。

鬼塚氏より「今年度末には世話人が3名減ってしまうため、今から世話人会をPRする必要があるのではないか」との意見がなされた。この意見に対して、臨時総会で周知する、適任者がいたら声かけを行うなどのPR案が挙げられた。

### (2) その他

令和2年度版活動一覧及びパンフレットが完成したことが事務局より報告された。河上氏より「国民健康保険の窓口付近にもパンフレットを設置できないか」との意見がなされ、事務局にて検討することとなった。